

第1章 九州圏における現状と課題

第1節 九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

- (1) 発展する東アジア等に関わった九州圏
東アジア等と九州圏の歴史的つながり
東アジア等に関わった九州圏
- (2) 発展する九州北部の都市圏と地域を支える拠点となる都市圏
九州北部の都市圏への人、物、情報等の集中
基幹都市圏が適度に分散する九州圏の都市構造
中国圏、四国圏、沖縄等の隣接地域との結びつき
九州圏の交流連携を支える交通・情報通信ネットワーク
- (3) 多様で豊かな自然環境を有する九州圏
豊かな自然環境等を有する離島半島、中山間地域等
維持・保全が求められる豊かな水資源、自然環境、景観等
- (4) 地域資源が豊富な九州圏
豊かな自然の恵みや多様な歴史文化に育まれた地域資源が豊富な九州圏
我が国の食・木材供給を支える地域としての九州圏
一大観光地としての九州圏

第2節 九州圏を取巻く経済社会情勢の転換

- (1) 本格的な人口減少社会の到来、急速な少子高齢化の進行
全国より早く本格化する人口減少社会と都市部への人口集中
生活圏域の中心となる都市等の空洞化の進行
維持・保全が危ぶまれる集落の増加
- (2) 東アジア等の経済発展と九州圏の国際化
東アジア等の著しい経済発展
東アジアの発展と九州圏の人、物、情報等の流通
- (3) 多様な価値観等へのニーズの高まりと地域運営の転換
多様な価値観、ライフスタイルへのニーズの高まり
地域住民等の主体的な取組の進展
厳しい地方財政と市町村合併の進展
- (4) 高度情報化社会の進展と生活イノベーションの展開

第3節 九州圏をめぐる様々な課題

- (1) 東アジア等とともに発展し我が国及び世界に魅力ある九州圏の形成
東アジア等との交流連携の深化による九州圏の存在感の向上
東アジア等へのゲートウェイ機能の充実・強化
- (2) 自然と魅力ある都市の利便性を享受できる豊かな生活環境の実現
拠点性の高い都市圏、自立的な生活圏域の形成による都市的利便性の向上
人口減少・高齢化が進行する農山漁村と地理的制約の厳しい地域への対応
- (3) 多様な価値観、ライフスタイルを実現する九州圏の形成
民間主体の活動を基軸とした個性と魅力ある地域の形成
都市と豊かな自然の双方を享受できる安心でゆとりある生活環境の形成

第2章 九州圏の課題への対応の方向性

- 第1節 東アジア等の経済発展と連動し自立的に発展する九州圏の形成
- (1) 東アジア等との交流連携の深化により自立的に発展する九州圏の形成
我が国を先導する歴史文化に根ざした東アジアとの多様な交流連携の推進 / 環境・省エネルギー等の集積技術を活用した東アジアにおける共通課題への対応
 - (2) 東アジアへのゲートウェイ機能の充実・強化
東アジアの主要都市を結ぶ国際交流連携軸の形成

第2節 拠点性の高い都市圏と豊かな自然地域からなる自立的な地域の形成

- (1) 広域的に拠点性の高い都市圏、豊かな生活圏域の形成
地域の魅力、豊かな暮らしを支える基幹都市圏の形成
国際・広域交流拠点としての魅力ある基幹都市圏の形成 / 基幹都市圏における広域的な高次都市機能の集積と利便性の向上 / 人口減少・高齢化に対応した暮らしやすい集約型都市構造への転換 / 基幹都市圏における暮らしやすさの確保
自立的な生活圏域の形成と機能補完的・戦略的な連携
地域特性に応じた自立的な生活圏域の形成 / 生活圏域の拠点となる都市の中心市街地等の活性化 / 複数市町村の連携による都市機能の機能補完的・戦略的な連携
都市機能を連結する広域的な地域連携軸の形成
広域的な地域連携軸を支える高速交通ネットワークの形成 / 高速情報通信ネットワークの形成
- (2) 暮らしやすい農山漁村の形成と地理的制約の厳しい地域の再生
美しく暮らしやすい農山漁村の形成と地域を支える産業の新たな展開
農山漁村の生活活動等から生まれる多様な魅力、暮らしやすい生活環境の再生 / 農山漁村を支える新たな発展
離島半島、中山間地域等の地理的制約の厳しい地域の再生
離島半島等の地理的制約を克服する魅力ある雇用機会と社会的サービスの確保 / 中山間地域等における日常生活の確保と生活イノベーションの推進
維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択
集落における生活活動・生活水準を維持するための対応 / 将来的な存続が困難な集落の将来選択

第3節 多様な価値観、ライフスタイルを実現する取組の推進

- (1) 地域住民の活動を基軸とした個性と魅力ある地域づくりの推進
民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくりの推進
「伝統的な営み」を基軸とした自助努力による地域づくりの推進 / 「新たな姿」を基軸とした地域づくりの推進 / 持続可能な地域づくりを支える地域的な資金循環の形成
恵まれた地域資源を最大限に活用した先導的な地域づくりの推進
恵まれた地域資源を最大限に発揮する地域独自の取組の推進 / 先導的な地域づくりを結び九州圏の総合力を発揮する取組の推進 / 新たな価値の創造による継続的な地域づくりの展開
- (2) 都市と豊かな自然等の選択可能性が高くゆとりある生活環境の形成
都市と自然が享受できる交流連携の推進と豊かな二地域居住、定住環境の形成
都市と豊かな自然が享受できる多様な交流連携の推進 / 都市と自然の双方が享受できる豊かな二地域居住、定住環境の形成
子育て世代から高齢者までゆとりと安心が享受できる生活環境の創出
子どもから高齢者まで安心とゆとりが享受できる生活環境の形成 / 多様な働き方、住まい方に応じたワーク・ライフ・バランスの実現 / 都市部等における新たな子育て支援環境の形成 / 地理的条件が厳しい地域等における安心して出産、子育てが行える環境の形成

第3章 自立的発展の実現に向けて

- (1) 九州圏の外に向けては東アジアと我が国を結ぶクロスロードとして発展
我が国において東アジアに最も近接する圏域として、先導的に東アジアのダイナミズムを取り入れ、自立的な発展を実現するための圏土構造を転換
中国圏、四国圏、沖縄等の近接地域との連携を深め、我が国の西南中枢拠点として機能することにより、東アジアと我が国を結ぶクロスロードとして発展
- (2) 九州圏の中に向けては都市的利便性を広域的に享受できる自立圏域を形成
高次の社会的サービスや多様な価値観等を実現する高次都市機能と基礎的な生活を可能とする生活支援機能の双方を享受できる生活環境を広域的に形成
各地域に個性的で魅力ある都市と産業を形成し、多様な交流連携を推進することにより、機能補完・連携や新たな発展を実現
- (3) 人口減少・少子高齢化へ積極的に対応することにより持続可能な地域を形成
都市の集約型構造への転換、それぞれの地域の担い手確保等の対応を積極的に推進
多自然居住地域における豊かな自然環境や国土保全における重要性を再認識し、都市と多自然居住地域との広域的な交流連携等を推進
- (4) 全ての世代が安心とゆとりを実感できる生活環境を実現
子どもから高齢者まで地域社会への参加・参画を通じた社会的な絆を再生と子育て、医療・福祉等における社会的サービスを広域的に確保・充実
とりわけ子育て環境は、人口減少が継続すれば九州圏の活力の源が消滅するとの認識の下、積極的な対応を推進